

大鹿村議会だより

第25号 平成30年10月15日 発行：大鹿村議会 TEL：0265-39-2001

平成30年9月

大鹿村議会9月定例会

平成30年9月大鹿村議会定例会が9月7日から20までの14日間の会期で開催されました。今定例会に提案された議案等は、報告3件、付議事件16件で、すべて原案どおり可決されました。

報告

報告第1号 平成29年度決算に基づく健全化比率の報告
報告第2号 平成30年度大鹿村一般会計補正予算(第2号)の専決処分の承認を求める
報告第3号 平成30年度大鹿村営水道特別会計補正予算(第2号)の専決処分の承認を求める

付議事件

議案第1号 大鹿村CATV施設の設備及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定
議案第2号 平成29年度大鹿村一般会計歳入歳出決算の認定
議案第3号 平成29年度大鹿村国民健康保険特別会計歳入

歳出決算の認定

議案第4号 平成29年度大鹿村立診療所特別会計歳入歳出決算の認定

議案第5号 平成29年度大鹿村営水道特別会計歳入歳出決算の認定

議案第6号 平成29年度大鹿村介護保険特別会計歳入歳出決算の認定

議案第7号 平成29年度大鹿村後期高齢者特別会計歳入歳出決算の認定

議案第8号 平成30年度大鹿村一般会計補正予算(第3号)

議案第9号 平成30年度大鹿村国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

議案第10号 平成30年度大鹿村立診療所特別会計補正予算(第2号)

議案第11号 平成30年度大鹿村営水道特別会計補正予算(第3号)

議案第12号 平成30年度大鹿村介護保険特別会計補正予算(第1号)

議案第13号 平成30年度大鹿村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

議案第14号 財産の処分について

▼リニア青木川非常口です。

議案第15号 平成30年度大鹿村一般会計補正予算(第4号)

議案第16号 平成30年度大鹿村営水道特別会計補正予算(第4号)

▼台風21号の災害復旧関連予算7億円が追加上程されました。

一般質問



東村邦子議員

*飯田ケーブルテレビの契約内容について

質問 大鹿村ケーブルテレビから、テレビ、電話、インターネットの通信や放送を新たに飯田ケーブルテレビの光キャスティングへ移行することについては、春からの内容説

明や住民説明会でどうやら大筋の理解ができた方が多いのではないかと。

ただ8月に飯田ケーブルテレビの営業マンから契約説明を受けて、移行によってNHKの衛星放送の受信料を払わなくてはならないことを、その時点で初めて認識した。新しい契約をすると、BSを見ていなかった者も強制的に受信料が加算される説明がなされていなかったのは大きな欠落ではないか。

特に担当者、担当課にお願したいことは、やはりこういう生活に直接かわつてくる負担のことを思い浮かべて、村民サイド、生活者に寄り添ったサービスを認識していただきたい。

村長 職員という話があったが責任は私の方にあると思っている。説明については丁寧にしていくようにということだったが、受信料についての説明は不足した部分があったのかなとは思っている。

職員は、技術の進歩や将来的に大鹿村の中でテレビの聴取ができなくなるという事に対する懸念が非常に大きくて、仕事を一生懸命してくれたのだと思っている。

*リニア対策室の対応について

質問 7月からリニア工事関連車両の通勤と普通車の市場通り試験運行が行われている。この提案が出されたのは6月末のリニア連絡協議会で、市場通り関連の自治会にお知らせが回ったのは、協議会終了後2週間余り過ぎた7月17日だった。お知らせの宛先が住民、事業所各位とあったが、NPOの宅幼小所から17日の昼前にお知らせは届いていないという連絡が入った。すぐに総務課へ確認の電話を入れたが、担当者不在でその日の連絡はなく、翌18日、NPO法人のスタッフから、リニア対策室の担当者が来てくれて説明があったと連絡をもらった。

2週間以上すぎて、1日でも2日でも早く住民の手に届いてほしい部分を、国道に面している自治会に対して、回覧という形でしか渡さなかった担当者の対応を村長はどう考えるか。

村長 まず施工業者との協議等も時間がかかり、内容的に通知できたのが7月17日付のリニア情報他、それぞれの自治会へのご案内だったと認識

している。

質問 「沿線自治会からのご意見について、役場リニア対策室まで報告いただきます。また沿線事業所のご意見は個別に聞き取りにお伺いします」とある。自治会から対策室に報告を受けるのではなくて、組長や自治会長の負担が大きいのと思われ、このときこそ車座集会的な、担当者による村民の直接聞き取りが必要ではないかと思う。

村長 今回の試行については、7月中から自治会の皆さん、事業所等からヒアリングをしたり直接ご意見をいただいている。また自治会長さんも結構お話を聞いて回っていた。いていようなので、そちら側の意見も聞く中で判断させていたのだと思います。



秋山光夫議員

*防災・減災と美しい村を維持し観光立村を進めよう

質問 十数年前には河川清掃の際に流域や中州の雑木を切

り倒し、片付け、薪として使っていた。以来十数年、高齢化もあるが、整備されない流域や中州の雑木のため、美しい清流は152号線を走っているもほとんど見づらくなっている。

中州の雑木は数も増え、この十数年で大きく成長し、そのため中州自体も拡大して、流域の細い雑木は濁流で根を洗われ流木と化し、中州の拡大のため濁流の流れが変わって、石積み護岸の基礎部分が削り取り、各地で護岸崩壊が起きている。さらに流域や中州の雑木のために大鹿の景観はますます悪くなっていると感じている。早急に河川清掃業者にさらなる委託をして、刈り払いだけでなく樹木も切って処理を行っていただき、その雑木は新材として村民希望者に提供することを提案する。

美しい清流の景観は観光客増加にもつながり、経済効果も向上してくると思われるが、村長はいかがお考えか。

村長 ご提案の立木については河川内なので、河川管理者である県においてルールがある。確かに河川内に立木があつて危険だという考え方もあるが、護岸等逆守っている場

合もあるのではないかと考えて方もないわけではない。観光客の増加に結びつくかどうかは何とも言えないが、自然のものがあるといのは、大鹿の大事な部分かなという気もしないではない。

産業建設課長 河川の管理は基本的には長野県で、ここは飯田建設事務所が管理している。河川内の立木の伐採については河川法25条により申請が必要です。しかしながら、切る場合は飯田建設事務所管理係の方へ一報いただきたいということになります。

質問 昔はせいぜい10〜15センチだった中州の木が今は30



鹿塩川・中州の雑木

センチ近い巨木になっている。土砂がその巨木にあたり、さらにたまりこんで中州が非常に拡大し、本流が変わってきている。また、川岸に生えたハンノキやアカシアなどはそれほど太くない。そのため通常の流れでも根が洗われて何本も倒れ、それが流木化してあちこちに引つかかっている。これは非常に危険な状態だと思う。

壊れる前に予想される危険箇所は手を加えておくというのが防災の原点ではないか。

村長 防災という面も確かに大事だが、村が主体となって伐採搬出するのは当面ちょっと考えたくない。というのは、これは数限りなくあるので始めたら厳しいところはある。

もう一つ溪流については、河川として幅を取られて、例えば準用河川で村が管理する所については、今年度から手を付けていく。ただ上流に行くと、個人所有の境界が入っているが、河川としてはないので、伐採は地主さんのご理解をいただかないとできない部分がある。危険な所で村の準用河川の中で確認できている所については徐々に手を入れていきたい。



河本明代議員

* 中部電力リニア送電設備の自主環境調査報告書について

質問 中部電力によるリニア送電線の自主環境調査報告書が作成され、8月6日から9月5日までの1か月間、役場の窓口において閲覧期間が設けられ、意見箱も設置されて意見受付が行われた。しかし、

平日の日中、役場の窓口でしか閲覧できない上、コピーや写真を撮ることも禁じられていたため、家に持ち帰って精査することもできなかった。自主アセスとはいえ、今回の中部電力の公開方法は非常に不適切なものだと言わざるを得ない。村としてもっと住民サイドに立った公開方法なり取り扱いを、中電側に強く求めることができなかったのか。

今回閲覧に来られた方は少ないとお聞きしているが、およそどのくらいの方が来られたのか把握されているか。今回出された意見に対する

事業者の見解は、いつどのような形で村民に示されるのか。全村対象の説明会も開催されるのか。いずれにしても、住民に分かりやすい説明を求めている。いただきたい。

この報告書の中で工事用車両通行道路が国道152号線とされていた。送電線も当然リニア工事の一環なので、ピーク時の工事車両台数152台、特に大型工事車両92台は必ず迂回路を通行していただきたいと思うが、村長はどう考えているか。

村長 閲覧期間のことについては、村としてはホームページの公開等、中部電力に強く求めたが、中部電力の方針として中部電力の飯田事務所及び大鹿村役場のみの、ああいう形の公開しかないと言われた。

閲覧期間はもう終わったが、意見に対する事業者の見解は早急に取りまとめ、中部電力から県に文書で提出されると聞いている。村に対しても同様の文書の提出を要望しているところだ。意見の内容と事業者の見解についての内容は、今後のリニア情報で住

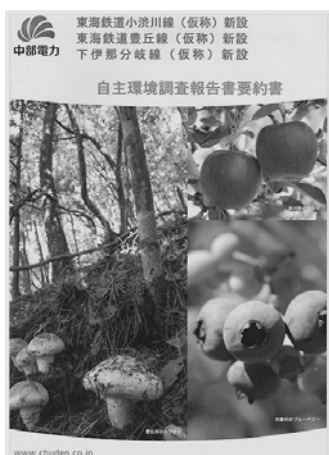
民の皆様にお知らせをしている。

中部電力からの説明は、10月上旬のリニア連絡協議会で行うよう求めているところ。

今後関係自治会に調査結果や送電線計画の説明を行い、来年度の工事着工前に住民に対し工事説明会を開催する予定となっている。

道路に関するお話は、おっしゃるとおり大型工事車両は迂回路を通行していただくよう中部電力に申し入れている。報告書は膨大なものだし、

全体的に細かくは見えていないが、今まで何回かの説明会で内容に沿っているのかなと感じている。今まで鉄塔の高さや伐採面積、伐採方法等、景観への配慮としてこちらから注文してきたが、対応してくれた部分もあると感じている。



中部電力自主環境調査報告書要約書

全体として特にこれといった不満もなく、また、すべて満足でもないという気がしているが、今後も気づいた点については申し上げていくつもりだ。

総務課長 今回の閲覧については記録は取っていない。6、7名くらいかなという認識だ。



齋藤栄子議員

* 農業振興

質問 大鹿村において農業振興なくして村の発展は進まないと思う。大鹿村第四次総合振興計画の中の農業の目標達成に向かい、今現在どのような対策が必要と考えておられるか、また新たな取り組みもお考えになっておられるか。

村長 ご質問は非常に漠としており、いきなり農業振興について聞かれても、具体的にこう考えているというものはなかなか言えないのが実情。

特に農業というのは非常に幅の広い部分でもあるし、現在の村の状況を見ると、高齢

化が進んで荒れ地が増えてきている現状がある。若い皆さんが大変努力して、いろいろ耕作等続けていっていただいているが、今までの流れと違った流れもかなり大きく出てきているので、行政の方でこういうふうにということをなかなか言いにくいのかなと思っている。

ただ、道の駅ができたり観光ということを見ると、地域でできた物を地域で消化できるような方法を探っていくのは一番大事なのかなと思っている。

質問 農業者との話し合いを増やし、現状をしつかり聞いた上で振興策をもう一度考え直していただきたい。

地産地消への取り組みでは、今、工事宿舎において大鹿の野菜は使われていない。村でできる野菜を食べ、地産地消に積極的に取り組んでいたとき、村民との友好も深めてほしいと願う。初めは宿舎に納入できるはずで、生産者の方々も張り切っておられたと聞いている。

日曜朝市、道の駅、工夫を凝らした無人販売所、どこにもいろいろな種類の新鮮でおいしく格安な野菜が出ている。

村の計画事業内容にも核となるグループの立ち上げを支援とあるが、もう一度この核となる組織のニーズを考えていただき、工事宿舍、宿泊施設、道の駅はじめ食事処の方々に、大鹿野菜を一品でも多く使っていただけるよう進めていきたい。

村長 工事宿舍には里山市場組合から納入というお話があったようだが、少しハードルが高かったという話も聞いている。その後の詳しい話は聞いていないが、一応そういう窓口はあったのかなと思っている。

また、新たな道の駅への農

産物への納入については、募集をして、希望される方は直接持ち込んでいると思っている。売れ具合もある程度あるということ、生産される皆さんが努力し、それを一つの景気づけとして頑張っていたら、思っているところだ。

行政でどう手を出していったらというのは今ここで軽々には申し上げられないし、個人個人が自分の意思で経営計画等をやっている。個々の皆さんがしっかりと気持ちの中で作り上げていっていただけるのが一番かなと思う。



北島千良穂議員

*道の駅・歌舞伎の里大鹿について

質問 道の駅が開業して1か月が過ぎた。お盆を中心に盛況だったそうだが、各店舗、観光協会の利用率など大体の数字を知りたい。良かったこと、悪かったことも知りたい。

生活店舗もかなりの利用率があるようだが、いまだに宣伝をしたらどうか。道の駅往復バス運行は主だったところに時刻表が欲しい。道の駅入り口にもう少し目立つ看板が欲しい、また落合地区に案内看板が欲しいという声がある。

村長 8月9日オープンで31日までの間に全体で約8千人の方がレジを通す買い物等をされたと聞いている。

品揃えの多さは良かった点ではないか。特産としてお菓子や野菜等が売れていることは良かったのかなと思っている。

生活店舗の宣伝は事業者の努力を求めたい。個々のお店

の広報は現状できない。バスの時刻表については確かに主だった場所に掲出することは大事ななことかと思うので、対応してまいりたい。

看板は、現地については今のままでいいと考えている。落合については担当課の方から要望を出している。

産業建設課長 8月9日から31日までの23日間の商業施設とレストランの集計で、両方利用された方はダブルカウン

トになる。全体で8298名、単純平均すると360名。生活店舗・特産品で6125名、レストランで2167名の方がご利用いただいている。最高は14日の759名。観光案内所に来てくれた方は312名。

*登山道のルートマップ・整備について

質問 大鹿村の観光といえば登山は重要な位置を占めている。大鹿村には南アルプス登山口が3か所、二兎山、大西山などがあるが、もう少し詳しいルートマップ作りをしたかどうか。登山道の整備については、観光の目玉となるものであるからには、当然村がやるべきと思う。早急に危険

箇所の点検と安全対策をしてほしい。

村長 現在南アルプス登山口3か所のうち豊口ルートがメインで、ほとんどこしかないと思っている。塩川ルートは国有林内の崩落により閉じているし、小渋ルートはベテランの方でないと非常に危険が多い。

二兎山については天空の池までの自動車道が最大の点かと思うが、これも非常に危険の多い場所だ。その対策をしっかり取れないところで、あまり大きく宣伝すると何かあったときには完全に村の責任になる。

大西山については昔の道を使っておりに分りにくい点があると思うが、マップは車を止める場所など対策を取ってからの方がよいと考えている。

鬼面山についてはここ数年で3件の事故が発生している。手は入れたいわけだが、国有林になっており国との関連も詰めないといけない。

やはり登山というのは個人の責任できちんと安全対策を取りながら歩いていただくのが原則かと思う。村が危険箇所の点検や安全対策をすべて取ることは不可能だと思う。



塩の里・日曜朝市



道の駅